

精進料理

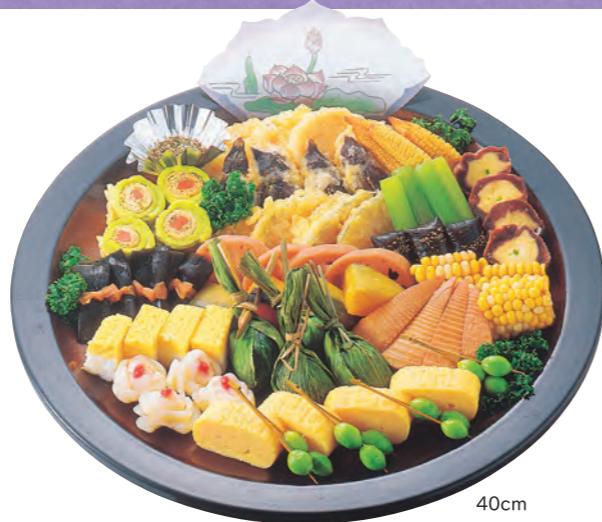
法事後のお食事をお寺や
ご自宅まで配達致します。

大切な方を偲び
お集まり頂いた
方へのおもてなし

野立三段重
3,240円（税別3,000円）



生抜き盛合せ 7,560円（税別7,000円）
生抜き盛合せ 6,480円（税別6,000円）



精進鉢盛 6,480円（税別6,000円）



【白ご飯】※写真の品

精進二段折詰

2,160円
(税別2,000円)

精進二段折詰

2,700円
(税別2,500円)



御斎(おとき) 26×20cm
1,620円（税別1,500円）

※御斎の刺身こんにゃくをお刺身に540円UPで変更出来ます。



御斎(おとき) 26.3×26.3cm
2,160円（税別2,000円）

※御斎の刺身こんにゃくをお刺身に540円UPで変更出来ます。



半精進箱膳 38.7×26.2cm
3,240円（税別3,000円）

※使い捨て容器
でも
お作り出来ます。

吸物 108円（税別100円）
茶碗蒸し 324円（税別300円）

お持ち帰りパック(ビニール袋付)1個33円

お持ち帰り用紙袋1枚55円

初盆

（初盆（新盆）提灯とお供え物）

故人が亡くなつた後、最初に迎える「初盆」の供養は丁重に行います。まず、仏壇の前に精進棚を設置し、初物の農作物で作ったお供え物を飾ります。供養膳には精進料理を盛り、さらに白団子、果物、故人の好物なども供えます。このお供えは墓前にも供えますので、同様に用意しましょう。お盆の間は仏壇のそばや軒先に初盆提灯を飾り、精進に自分の家を教えます。お盆の最後の日（7月15日、旧暦では8月15日）には送り火を焚き、靈を送り出せば初盆の行事は終了です。

※四十九日（忌明日）を迎える前、もしくは四十九日から幾日もたたない時にお盆を迎える場合は、初盆は翌年になります。

年忌法要

（仏事）

精進料理とは、野菜や豆腐などの植物性の食材のみで作った料理のこと。また最近では、健康食としても注目が集まっています。

葬儀がいっさい済んだ夜、お世話になつた方々に感謝するため開く宴です。

「初七日」

近親者・知人を招いて仏の供養をします。

「四十九日」

この日は忌明けの供養を近親者・知人を招いて盛大に行います。

（法要に持参するもの）

靈前に供える生花やお菓子、果物などを持参します。自宅ではなく寺や料亭など別の場所で法要を行う場合や、お供え物が重なりそうな場合は、現金を持参する方が無難でしょう。表書きは品物の場合は「御供」、粗供養に折詰や酒の小瓶などを添えてお渡ししましょう。

僧侶へのお礼は「お布施」としてお渡しします。

（初盆（新盆）提灯とお供え物）

故人が亡くなつた後、最初に迎える「初盆」の供養は丁重に行います。まず、仏壇の前に精進棚を設置し、初物の農作物で作ったお供え物を飾ります。供養膳には精進料理を盛り、さらに白団子、果物、故人の好物なども供えます。このお供えは墓前にも供えますので、同様に用意しましょう。お盆の間は仏壇のそばや軒先に初盆提灯を飾り、精進に自分の家を教えます。お盆の最後の日（7月15日、旧暦では8月15日）には送り火を焚き、靈を送り出せば初盆の行事は終了です。

※四十九日（忌明日）を迎える前、もしくは四十九日から幾日もたたない時にお盆を迎える場合は、初盆は翌年になります。